

# 自己点検・評価報告書

令和2年6月

学校法人 貝畑学園  
専門学校 岡山ビジネスカレッジ 日本語学科

## 1. 理念・教育目標

### 【理念・ミッション】

1. 時代の変化に対応する知識・技術を追求する。
2. 教養と人格を高める。
3. 豊かな人間性を培い、国際的な視野を養う。

### 【教育目標】

1. 自立して社会に貢献できる人材の育成
2. 学生一人ひとりを大切にす学校
3. 国際理解教育の推進

### 【育成する人材】

日本語を通じて、日本の社会や文化を理解し、広い視野と良識を培い、国際的に活躍できる人材の育成を目指す。

- ・理念、教育目標が社会の要請に合致していることを確認している。 A
- ・理念、教育目標及び育成する人材像が、教職員及び学生に周知されている。 A

## 2. 学校運営

- 2.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。【注】 ✓
- 2.2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。 A
- 2.3 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営が行われている。 A
- 2.4 意志決定が組織的に行われ、かつ、効果的に機能している。 A
- 2.5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。 A
- 2.6 外部からの情報収集が効果的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。 A
- 2.7 学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。 A
- 2.8 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。 A
- 2.9 業務の見直し及び効果的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。 A

2.2 運営方針を明確にし、全体会議及び全体講師会で周知徹底している。また、毎月の連絡会、日々の朝礼での連絡及び新学校システム導入により、個々のスケジュールの把握などにより情報の共有化を行い、方針を伝えている。

## 3. 教育活動の計画

- 3.1 理念・教育目標に合致したコース設定をしている。 A
- 3.2 教育目標達成に向けたカリキュラムが体系的に編成している。 A
- 3.3 国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。 A
- 3.4 教育目標に合致した教材を選定している。 A
- 3.5 補助教材、生教材を試用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。 A
- 3.6 教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。 A
- 3.7 教員の能力、経験などを勘案し、適切な教員配置をしている。 A

## 4. 教育活動の実施

- 4.1 授業開始までに学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。 A
- 4.2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他の指導に必要な情報を伝達している。 A
- 4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。 A
- 4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。 A
- 4.5 理解度・達成度の確認を実施期間中に適切に行っている。 A
- 4.6 学生の自己評価を把握している。 A
- 4.7 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援を行っている。 A
- 4.8 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家に助言を受けている。 A

- |     |  |  |
|-----|--|--|
| 4.1 | 入学時にプレテスト、会話テストを実施し、日本語の能力を判定してから、レベル別のクラスを編成している。 |  |
| 4.5 | 学期ごとに定期テストを実施し、学生の理解度、達成度を確認している。                  |  |

## 5. 成績判定と授業評価

- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 5.1 | 判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また、判定基準と方法を開示している。 | A |
| 5.2 | 成績判定結果を的確に学生に伝えている。                             | A |
| 5.3 | 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。                      | A |
| 5.4 | 授業評価を定期的実施している。                                 | B |
| 5.5 | 評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。                          | A |
| 5.6 | 学生による授業評価を定期的実施している。                            | A |
| 5.7 | 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。       | B |

- |     |   |
|-----|---|
| 5.1 | 基準を明確に定め、定期テスト、出席率、課題提出等も含めた総合評価で行っている。       |
| 5.4 | 授業を評価する体制が不十分なため、授業見学、勉強会により相互評価できる体制にしていく予定。 |

## 6. 教育成果

- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 6.1 | 入学や修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。                     | A |
| 6.2 | 修了・卒業の判定を適切に行っている。                                    | A |
| 6.3 | 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。                       | A |
| 6.4 | 卒業または修了後の進路を把握している。                                   | A |
| 6.5 | 卒業生及び修了生の状況を把握するための取り組みを行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。 | A |

- |     |   |
|-----|---|
| 6.3 | 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果は、学生に結果がわかるものを提出させ、とりまとめている。 |
| 6.4 | 卒業または修了後の進路を把握するため、進学先の在籍がわかる証明書を提出させている。           |

## 7. 学生支援

- |      |  |   |
|------|--|---|
| 7.1  | 学生支援計画を策定し、支援態勢を整備している。  | A |
| 7.2  | 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限が明確化している。また、これらの者を学生及び教職員に周知している。 | A |
| 7.3  | 日本社会を理解し、適応するための取り組むを行っている。  | A |
| 7.4  | 留学生に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的に実施している。  | A |
| 7.5  | 住居支援を行っている。  | A |
| 7.6  | アルバイトに関する指導及び支援を行っている。   | A |
| 7.7  | 健康、衛生面について指導する体制を整えている。  | A |
| 7.8  | 対象となる学生全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生保険に加入している。  | B |
| 7.9  | 重篤な疫病や障害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。   | A |
| 7.10 | 交通事故等の相談体制を整備している。   | A |
| 7.11 | 危機管理体制を整備している。   | A |
| 7.12 | 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。   | A |
| 7.13 | 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び学生に周知している。  | A |

- |     |  |  |
|-----|--|--|
| 7.4 | 入学後、生活オリエンテーション、授業オリエンテーションを実施し、日本での生活、マナーについて等指導を行っている。           |  |
| 7.6 | 入学後、アルバイトのオリエンテーションを実施し、指導を行っている。また、学校で紹介できるアルバイトについては、学校内で掲示している。 |  |
| 7.8 | 留学生保険には加入していないが、留学生のための学生傷害保険に加入し対応している。                           |  |

#### 8. 進路に関する支援

- |     |  |   |
|-----|--|---|
| 8.1 | 進路指導担当者を特定している。                        | A |
| 8.2 | 学生の希望する進路を把握している。                      | A |
| 8.3 | 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。 | A |
| 8.4 | 入学時からの一貫した進路指導を行っている。                  | A |

- |     |   |
|-----|---|
| 8.2 | 学生の希望する進路を把握するため、定期的に担任が面談を実施している。                  |
| 8.3 | 進学に関する最新の資料は教室や図書室に置いたり、掲示したりし、学生がいつでも閲覧できるようにしている。 |

#### 9. 入国・在留に関する指導及び支援

- |     |  |   |
|-----|--|---|
| 9.1 | 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。          | A |
| 9.2 | 担当者は、研修受講等により最新、かつ、適切な情報取得を継続的に行っている。        | A |
| 9.3 | 地方出入国在留管理局により認められた申請等取次者を配置している。             | A |
| 9.4 | 入管法上の留意点について学生への伝達、指導等を定期的に行っている。            | A |
| 9.5 | 在留に関する学生の最新情報を正確に把握している。                     | A |
| 9.6 | 在留上、問題のある学生への個別指導を行っている。                     | A |
| 9.7 | 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている。 | A |
| 9.8 | 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。        | A |

#### 10. 入学者の募集と選考

- |      |   |   |
|------|---|---|
| 10.1 | 理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。  | A |
| 10.2 | 機関に属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。  | A |
| 10.3 | 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。                               | A |
| 10.4 | 海外の募集代理人(エージェント等)に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。                               | A |
| 10.5 | 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。  | A |
| 10.6 | 学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。<br>不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者(職員等)が面接などの調査を行うよう努めている。 | A |
| 10.7 | 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。                          | A |
| 10.8 | 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。                                       | A |
| 10.9 | 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。  | A |

#### 11. 法令遵守

- |      |  |   |
|------|--|---|
| 11.1 | 法令遵守に関する担当者を特定している。                        | A |
| 11.2 | 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている。             | A |
| 11.3 | 個人情報保護のための対策をとっている。                        | A |
| 11.4 | 地方出入国在留管理局、その他関係官公庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。 | A |